

ETERNUS DX8900 S6 ハイブリッドストレージシステム

デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進する柔軟性と信頼性を提供

膨大な業務をこなし、止めない

第六世代となるハイブリッドストレージ

近年、企業を取り巻く環境は大きく変化しており、データやデジタル技術を活用して製品やサービス、ビジネスモデルの変革や、既存業務のプロセスを大胆に変革する、デジタルトランスフォーメーション(DX)が推進されています。

ETERNUS DX8900 S6は、膨大なデータを活用するために、柔軟性、信頼性を提供しDX実現に貢献します。また、最大4,608ドライブ・物理容量として最大137PBまで格納することが可能な、大規模環境向けハイブリッドストレージです。

あらゆる用途をカバーする柔軟性

本機種は、いっそう需要の高まる超高速・大容量のSSDはもちろん、従来型の各種HDDの搭載まで幅広くサポートします。従来の業務システムの維持・高度化から、データを高度に活用した新たなビジネスモデルの創造といった「デジタル革新」を起こすデータ基盤まで、お客様の業務特性やコスト要件に応じて性能・容量・価格を高度にバランスさせた基盤を一台の装置で構築できます。ビジネス判断の高速化、顧客サービスの向上に向け益々その価値が高まる基幹系データベース、インフラ管理の効率化、スピードアップを期待されるサーバ・クライアント仮想化システム等、あらゆるビジネス基盤との優れた親和性を発揮します。

「ハイブリッド」が可能にするストレージ・リソース活用の最適化

NVMe SSD採用による更なる性能向上

NVMe SSDは通常のデータ領域だけに限らず、二次キャッシュとして活用することも可能であり、レスポンスネックとなりやすいディスクアクセスを減らし、処理の高速化を実現します。NVMe SSD、SAS SSD、HDDによるリソース最適化が可能となり、「ハイブリッドストレージ」による高コストパフォーマンスを実現します。

業務単位での性能担保と自動調整

優先的に処理を行いたいサーバの性能を確保するため、QoS (Quality of Service) 機能をサポート。管理ソフトウェアから各ボリュームに目標レスポンスを設定しておくことで、自動的にボリューム間でリソースを融通します。負荷変動の大きい業務においても、システム管理者の手動調整を省くことで工数を大幅に削減します。



ストレージ自動階層制御

異種ドライブ混在環境で、データのアクセス頻度に応じてドライブ間でデータ再配置を行います。アクセス頻度の高いデータを高性能なSSDに配置する一方、利用頻度が低いデータを安価なニアラインディスクへ自動で配置。コストに見合った最適な性能を得ることができます。

データ量の削減

ストレージ内のデータをリアルタイムで削減するインライン方式の圧縮機能を搭載しており、格納容量を大幅に削減します。

エンタープライズ・ストレージとしての機能を実装

高速コピー

フルボリュームの高速コピー機能に加え、更新データの差分コピー機能やスナップショット機能をサポート。業務影響を最小限に抑えたバックアップが可能です。また、筐体間コピーをサポートし、遠隔地バックアップによる災害対策が行えます。“Storage Cluster”の適用時はバックアップサイトへの切り替え処理を行わず継続アクセスが可能です。

高信頼・セキュリティ

主要なコンポーネントを冗長化すると共に、RAIDやキャッシュメモリのミラーリングによりデータを冗長化。ドライブ故障の兆候を検知すると事前にデータをホットスペアに自動コピーし、データの冗長性を常に確保します。停電時にはキャッシュのデータを不揮発メモリに退避し、復電時までデータを保護します。また、万が一ディスク故障が発生した場合は、障害が発生したディスク上に格納されているデータを、他の正常なディスクに高速に再配置し、迅速な復旧を実現するFast Recoveryをサポートします。

標準の3年保証

ETERNUS DX8900 S6の構成品はすべて3年間の標準保証期間を設けており、ハードウェアへの投資を保護します。

運用・管理を容易に

複数台におよぶストレージ環境を統合的に一元管理する“ETERNUS SF Storage Cruiser”をはじめ、運用管理を効率化するソフトウェアをご用意しております。設計構築段階から運用に至るまでをウィザードでの設定やダッシュボード形式の監視といった直感的なGUIとして提供し、さらにはリソース管理の制御を自動化することで、運用管理コストの削減に貢献します。

製品カタログ ETERNUS DX8900 S6 ハイブリッドストレージシステム

ETERNUS DX8900 S6の装置仕様

CPU	インテル® Xeon® プロセッサ		
サポートRAID	0, 1, 1+0, 5, 5+0, 6		
最大物理容量*1	137PB		
コントローラ数	2~24		
ホストインターフェース(最大転送速度)	FC[6.4Gbit/s,32Gbit/s, 16Gbit/s], iSCSI[10Gbit/s(10GBASE-SR, 10GBASE-CR)]		
ホストインターフェースアダプター数	2~96		
ホストインターフェース数	4~384[FC(6.4Gbit/s,32Gbit/s,16Gbit/s)], 4~192[iSCSI(10Gbit/s)]		
システムメモリ容量	24TB**		
Extreme Cache Pool最大容量	307.2TB		
ドライブ数	4,608**		
最大DE数**	2.5" NVMe DE	84	
	2.5" SAS DE	180	
	3.5" DE	180	
サポートドライブ(回転数)	2.5"	NVMe SSD	暗号化非対応 15.36TB, 7.68TB, 3.84TB, 3.2TB** ⁵ , 1.92TB
		SAS SSD	暗号化対応 15.36TB, 7.68TB, 3.84TB, 3.2TB** ⁵ , 1.92TB
		SASディスクドライブ [10,000rpm]	暗号化非対応 30.72TB, 15.36TB, 7.68TB, 3.84TB, 1.92TB
	3.5"	ニアラインSAS ディスクドライブ	暗号化非対応 7.68TB, 3.84TB, 1.92TB
			暗号化対応 2.4TB** ⁶ , 1.2TB
			暗号化対応 1.2TB
ドライブインターフェース(最大転送速度)	NVMe[16Gbit/s]/SAS[12Gbit/s]		
外形寸法[ピッチ数]	FE	W482xD805xH217mm[5U]	
	CE	W482xD785xH132mm[3U]	
	2.5" NVMe DE	W481xD546xH88mm[2U]	
	2.5" SAS DE	W482xD540xH88mm[2U]	
	3.5" DE	W482xD560xH88mm[2U]	
最大質量	FE	58kg	
	CE	55kg	
	2.5" NVMe DE	30kg	
	2.5"/3.5" SAS DE	35kg	
電源条件	電圧	AC200~240V	
	相数	単相	
	周波数	50Hz, 60Hz	
	最大消費電力[最大皮相電力]*7	FE	770W[800VA]
	CE	1,761W[1,763VA]	
	2.5" NVMe DE	570W[580VA]	
	2.5" SAS DE	430W[440VA]	
	3.5" DE	340W[350VA]	
	最大構成時*8	99,292W[101,156VA]	
最大発熱量*7	FE	2,740[kJ/h]	
	CE	6,340[kJ/h]	
	2.5" NVMe DE	2,060[kJ/h]	
	2.5" SAS DE	1,600[kJ/h]	
	3.5" DE	1,300[kJ/h]	
	最大構成時*8	366,820[kJ/h]	
周囲環境条件(動作時)	温度	10~35°C(動作時)	
	湿度	20~80%RH(動作時)	
省エネ法に基づく表示 (2023年度基準)	区分名	V**10	
	エネルギー消費効率*9	0.000965	
	最大構成時の記憶容量 (GB)	38,880,000	
	最大構成時のディスクドライブ種類	3.5型/18TB	
	最大構成時のディスクドライブ回転数 (rpm)	7,200	
最大構成時のディスクドライブ搭載台数	2,160		
		V**11	
		0.00471	
		10,368,000	
		2.5型/2.4TB	
		10,000	
		4,320	

用語表記 2.5":2.5インチ, 3.5":3.5インチ, FE:フロントエンドエンクロージャ, CE:コントローラエンクロージャ, DE:ドライブエンクロージャ

- *1:本内容は、1TB=1,000GB、1GB=1,000MBとして計算した物理容量
- *2:本機に搭載可能なメモリの総量
- *3:単一サイズのドライブを最大数搭載した場合の数値
- *4:ドライブエンクロージャは混在搭載が可能
- *5:NVMe SSD (3.2TB)は、Extreme Cache Pool 用のドライブとして使用可能
- *6:アドバンスド・フォーマット
- *7:エンクロージャに搭載可能な全オプションを搭載した場合の、最大負荷時に必要な電力値、および発熱量
- *8:装置に搭載可能な全オプションを搭載した場合の、最大負荷時に必要な電力値、および発熱量
- *9:エネルギー消費効率は、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネ法で定める記憶容量で除したものです。
- *10:区分Vのエネルギー消費効率は、2.5型磁気ディスクドライブと3.5型磁気ディスクドライブを混在搭載した場合の最大構成時のものです。
- *11:区分VIのエネルギー消費効率は、2.5型磁気ディスクドライブのみを搭載した場合の最大構成時のものです。

サポートサーバ/OS*

メーカー名	機種	OS*
エフサステクノロジーズ	基幹サーバ PRIMEQUEST PCサーバ PRIMERGY	Windows Server 2022, Windows Server 2019, Red Hat Enterprise Linux 9, Red Hat Enterprise Linux 8, SUSE Linux Enterprise Server 15, Oracle Linux 9, Oracle Linux 8, VMware vSphere 8.0, VMware vSphere 7.0
富士通	UNIXサーバ SPARC M12	Solaris 11 Operating System
Oracle	SPARC	Solaris 11 Operating System
その他	各社PCサーバ	Windows Server 2022, Windows Server 2019, Red Hat Enterprise Linux 9, Red Hat Enterprise Linux 8, SUSE Linux Enterprise Server 15, Oracle Linux 9, Oracle Linux 8, VMware vSphere 8.0, VMware vSphere 7.0

*サポートOSは必ずサーバのサポート状況も確認してください。

<p>グリーン購入法への対応</p> <p>本製品は、国などによる環境物品などの調達 の推進などに関する「グリーン購入法」に基づく調 達の基本方針(判断の基準)に対応しています。</p>	<p>製品保証</p> <p>ETERNUS DX8900 S6の本体/オプションについて、 3年間翌営業日以降訪問修理を受けられます。 ※平日:月曜日~金曜日(祝日、12月30日~1月3日を除く)</p>
--	--

- Intel, インテル, Intel ロゴ, Intel Inside, Intel Inside ロゴ, Xeon, Xeon Insideは、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporationの商標です。
- Windows, Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。 ●Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Red Hat, RPMおよびRed Hatをベースとした全ての商標とロゴは、Red Hat Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。 ●SUSEは米国およびその他の国におけるNovell Inc.の商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国、およびその他の国における登録商標です。Oracle Solarisは、Solaris Operating Systemと記載する場合があります。
- VMwareは、VMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- お客様システムの安定稼働やセキュリティ確保のために、最新版ファームウェアの適用を推奨しています。最新版は以下のお客様専用ホームページ[SupportDesk-Web]で提供します。なお、ファームウェアの入手・適用は、お客様自身で実施願います。弊社に作業を依頼される場合は、有償にて承りますので、弊社担当営業、または販社/パートナーまでお問い合わせください。https://eservice.fujitsu.com/supportdesk-web/
- 記載の会社名、製品名、名称等の固有名称は各社の商標または登録商標です。 ●その他、本カタログに記載されている名称には必ずしも商標表示をしておりません。
- このカタログに記載されている製品については、改良のために予告なしに仕様、デザイン等を変更する場合がありますのでご了承ください。 ●このカタログは、再生紙を使用しています。

クラス1レーザ製品

[SupportDesk]では高品質なトータルサポートを提供しています。詳細は富士通ホームページ「製品サポート」をご覧ください。 https://www.fujitsu.com/jp/supportdesk/

お問い合わせ先

受付時間 9:00~12:00および13:00~17:30(土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く)

富士通コンタクトライン(総合窓口)

0120-933-200

https://www.fujitsu.com/jp/eternus/